

年と名と品こそかはれ米のはる 通称八十八 漸風

米といふかきりもなく松のはる 茂とめ

降雪や花にくらふる米の餅 春路

寿や千代をこめたる鏡餅 東明

屠蘇なめん米の盃いた、いて 清知

つ、かなく米の御慶をうけらる、 春齋

去秋の祝ひも既に米齡の

はるに移られたるを賀す

祝ふ手にもたせ初子の玉帚 七十一老 清民

曾祖父母の米字の春を迎給ふを歡ひて

千代かけて茂らん松も米のはる 曾孫 旧池

人々に祝はれみつからもいはひて

おもしろや起て出たれは米の春 八十八齡 多代

文久三年癸亥春